



富小評価だより

令和4年6月2日 No.1
富岡市立富岡小学校

皆様には、本年度も学校評価アンケートでたいへんお世話になります。
今年度の学校経営方針をもとに評価項目を決めました。職員の1年間の努力目標になります。子どもたちのよりよい成長に向け、学校・家庭・地域が協働して教育活動に取り組んでいけるよう努力してまいります。
ご覧いただき、7月の第1回学校評価アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年度学校評価一覧表

教育目標の達成状況

評価の観点	評価項目
みんな仲良く	相手や周りのことを考えた言葉遣いができる
	自分から進んであいさつや返事ができる
	きまりを守って生活することができる
	相手の気持ちが分かり、親切にできる
	みんな協力することができる
元気に運動	健康に気を付けて生活することができる
	進んで運動し体力を高めることができる
	安全に気を付けて生活することができる
	粘り強くやり抜くことができる
本気で勉強	将来の夢や志をもっている
	主体的に学習に取り組むことができる
	基礎的な知識及び技能を習得している
	知識・技能を活用し課題を解決できる

本年度の努力点についての評価 No.1

評価の観点	評価項目	方策	
豊かな学びの育成	1 学力向上委員会を機能させ、本校の実態に応じた学力向上対策を組織的に継続する。	・PDCAサイクルを意識した、学力向上委員会の運営 ・児童の実態に基づく対策協議	
	2 確 的 かな 確 学 かな 確 力 かな 確 向 かな 確 上 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	2 確 的 かな 確 学 かな 確 力 かな 確 向 かな 確 上 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	・CRT学力検査の結果活用 ・個に応じた補充・発展学習の充実
	3 かな 確 学 かな 確 力 かな 確 向 かな 確 上 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	3 かな 確 学 かな 確 力 かな 確 向 かな 確 上 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	・必然性のある課題設定を取り入れた授業の実施 ・問題解決的な学習の拡充 ・協働的な学習の工夫・改善
	4 学 かな 確 力 かな 確 向 かな 確 上 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	4 学 かな 確 力 かな 確 向 かな 確 上 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	・児童の実態把握と教員同士の情報交換の充実 ・児童の発達段階に応じた学習支援の充実
	5 力 かな 確 向 かな 確 上 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	5 力 かな 確 向 かな 確 上 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	・ALT、外国語活動指導員とのチームティーチングによる指導の充実 ・FunGLISH Roomをはじめとした、外国語に親しむ校内環境の整備 ・English CAFEをはじめとした、授業以外でもALTと触れ合う活動の実施
	6 上 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	6 上 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	・「わくスタ」「学習の約束」の全校共通体制での実施 ・Webページによる「わくスタ」の内容や取組の周知 ・週末や連休などでタブレットを持ち帰っての家庭学習の推進
	7 育 かな 確 成 かな 確	7 育 かな 確 成 かな 確	・特別活動を通じたキャリア教育の推進 ・「キャリアパスポート」の効果的な活用
	8 豊 かな 確 か かな 確 な かな 確 心 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	8 豊 かな 確 か かな 確 な かな 確 心 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	・諸活動における計画的な活躍の機会の設定 ・ほめて伸ばす指導の徹底 ・学年会や生活支援委員会を核とした職員間の児童情報の共有
	9 かな 確 心 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	9 かな 確 心 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	・教育活動全体を通じたコミュニケーション能力の育成 ・共感的な児童理解と細やかな支援の充実 ・ホームページを通じて、学年・学級の取組を家庭に向けて積極的に発信
	10 心 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	10 心 かな 確 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	・授業スタンダードを活用した、道徳授業の充実 ・2年生以上でのローテーション道徳の実施 ・日常における道徳指導の充実
	11 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	11 の かな 確 育 かな 確 成 かな 確	・「なかよし月間」「なかよし旬間」や愛校会を中心とした活動の充実 ・人権感覚チェックリストによる教職員の人権感覚の涵養 ・人権教育部会の定期的な開催
	12 育 かな 確 成 かな 確	12 育 かな 確 成 かな 確	・日常の観察や悩み調査等による問題の早期発見 ・学年間、管理職との連絡を密にした早期対応 ・生活指導委員会の機能強化と組織的対応
	13 成 かな 確	13 成 かな 確	・SC来校日や教育相談体制の児童・保護者への周知 ・教職員とSCや心の教室相談員との連携及び教育相談体制やカウンセリングマインドの向上

本年度の努力点についての評価 No.2

	評価の観点	評価項目	方 策
14	健やかな体づくり	体力向上プランに基づき体育的活動を充実させ、家庭とも連携して運動習慣の定着と運動の質的・量的確保を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上プランの分析と来年度に向けての立案 ・集会や行事を活用し、運動することの楽しさを十分に味わえる活動の実施 ・家庭と連携した運動習慣の定着と運動の質的・量的確保
15		感染予防を核とする健康教育や栄養教諭を中心とした食育の充実により、基本的な生活習慣や望ましい食習慣の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の新しい生活様式における感染症対策の徹底 ・家庭と連携した基本的な生活習慣や望ましい食習慣の定着
16		実践的な安全教育により、自他の生命や健康を守る危険予測・危機回避能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室や避難訓練等による安全意識の高揚 ・生活安全指導を通じた危険予測・危機回避能力の育成
17	組織的で活力ある学校づくり	長期的な視点に立って本校の教育課題や地域の実態に応じた特色ある教育課程をマネジメントする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の分析と改善策の実行 ・保護者や地域と連携した学習活動の充実
18		「人事評価制度」や「教員育成指標」を活用して学校経営参画意識を高め、職員一人一人が役割を自覚するとともに、創意・工夫を發揮して組織的に学校運営に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営方針や努力点に基づく職員一人一人の役割の自覚 ・各種委員会、学年会等における組織的取組の強化 ・経営方針とリンクした業績評価の目標設定 ・面談機会の活用と進捗状況の報告、確認
19		「規律確保行動計画」に則り、服務規律を遵守し、教育公務員としての使命感と責任感を常に自覚して職務を遂行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・服務規律確保に関わる研修の計画的な実施 ・「服務規律チェックリスト」による毎月の確認
20		今秋の家庭科関ブロ大会の授業公開に向けて、「はばたく群馬の指導プランⅡ」等を踏まえた校内研修を通して実践的研究を積み上げ、教員の指導力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当による関ブロ大会に向けた資料の準備 ・「はばたく群馬の指導プランⅡ」を踏まえた問題解決的な授業の実践
21		校内研修やメンター研修を通して、互いに高め合う同僚性あふれる職員集団を形成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上を目指した研修の実施 ・教職員一人一人のよさを發揮できる場の設定 ・関ブロ大会に向けた準備への組織的な取組
22		特別支援Coを核として「個別の教育支援計画・指導計画」を整備・活用し、児童一人一人のニーズに応じた支援を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの把握と個別の教育支援計画の活用 ・学校全体の共通理解と組織的な対応
23		言語指導の工夫・改善に努め、通級児童の実態に応じた課題解決を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・合同研修や教室研修等の実践研修を通じた指導力の向上 ・個々の障害の状態に応じた指導と個別の指導計画の活用
24	地域に根ざした信頼される学校づくり	東中学校やこども園等と日常的に連携し、系統性・一貫性・連続性のある指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中間における定期的な授業参観の実施 ・幼保こ小連携推進会議による共通理解と共通行動の実施
25		Webページや各種通信等を活用し、本校の取組を家庭・地域へ積極的に配信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・Webページによる行事や日常の様子等の情報提供 ・各種便りによる情報提供
26		学校評価や学校評議員制度を活用し、保護者や地域からの情報を収集・分析することで、学校課題を把握し、年度内での改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価、学校評議員からの情報収集・分析による課題の明確化 ・改善策の計画的で確実な実行
27		学校家庭地域連携推進会議を活用し、学校課題を熟議し、協働できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携の充実を図るために、家庭や地域からの情報の収集 ・「開かれた学校」のもと、地域、家庭、学校が学校課題を共通理解した、同一歩調による実践
28		スクールサポートボランティア「とみさぼ」の取組を保護者・地域に紹介し、年間指導計画を踏まえて、外部人材を積極的に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員、PTA、保護者に対する「とみさぼ」の活動の周知 ・「とみさぼ」の年間指導計画の作成
29	健康で安全・安心な学校づくり	感染防止マニュアルや学校安全管理マニュアルを学校・家庭間で共通理解し、危機管理を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーやアナフィラキシーへの適切な対応方法の確認 ・様々な事態を想定した避難訓練の実施
30		保護者と連携して通学路や学校施設の安全点検を徹底し、迅速に問題点を改善する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内外の毎月の点検の徹底 ・通学路の安全確認と安全マップの見直し
31		適切で効果的な予算執行により、教育環境の最適化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題箇所の迅速な発見、確認、改善と健康で安心・安全な学校づくりの推進 ・備品・物品等の購入や廃棄等の計画的な実施と学びの環境の充実の促進
32		富岡小学校施設長寿命化ワーキンググループでの取組を通して、将来にわたり安心して快適な学校施設の在り方について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・使う物と使わない物の精選 ・教室や教材室、校舎内の整理整頓の実施
33	働き方向上	分掌業務の見直し・改善を通して働き方改革を着実に進め、さらなる校務の効率化・スタンダード化を図り、持続可能なシステムづくりを継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事量適正化、総量規制、適切な仕事分担、連携による加重負担解消の推進。 ・組織全体を俯瞰し、「マニュアル化」「データ共有(一元)化」、「ペーパーレス化」の推進
34		勤務時間の適正な管理や実態把握により、職員のワークライフバランス(ベスト・エデュケーション/ベスト・コンディション)やメンタルヘルスの保持に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・在校等時間記録表による勤務時間の管理の徹底 ・7to7、19:00完全退庁の実施 ・定時退勤日(クリーンタイムα)の徹底